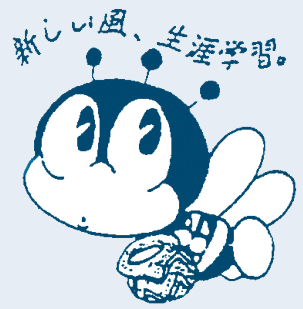




デザイン：石ノ森 章太郎
生涯学習のマスコット“マナビィ”

NO.261

Iターン漁業者としての歩み

中郷自治会 濱田 秀樹

漁協で取り組んだ『新鮮田布施』で第19回全国青年・女性漁業者交流大会において農林水産大臣賞の表彰を受けた濱田さん。Iターンで田布施町に移り住み、人とのつながりの大切さを感じながら歩んで来られた経緯と今後の志について語っていただきました。

私が田布施町に来てから早いもので11年目となり、月日が流れる早さを毎年実感しております。

まず経緯ですが、当時サラリーマンだった私は、かつてからなりたかった漁業者(漁師)として新たな道を歩むべく、なれる方法を模索していました。そんな中、平成15年東京で行われる全国漁業就業フェアの事を知り早速現地へと向かいました。その会場では、全国から新しい就業者を迎え入れようと

する漁業組合や水産会社など多数出展されており、自身のなりたい漁業種の出展者と面談をして後日採否を傳達されるというもので、参加者は皆人生を左右するため真剣に条件や内容に聞き入っていました。出展していた25団体の中から、私も希望の漁業種(独立型)を探していると出展者の条件と自身の希望に合ったのが田布施漁協(現在の山口県漁協田布施支店)でした。「ここ

だ!」と直感した私は妻に連絡、山口県田布施への希望を提出し、後日採用の通知を頂いて家族4人で移住をして現在に至っております。

さて、移住をしてからですが、漁業の勉強は勿論、子どももこちらに来てから初めての幼稚園入園、様々な地域活動への参加等もあり、ここ山口に身寄りのない私達にとって、地域の皆様

には来た当時から多面的にご支援頂き、ここまでやってこられた事を深く感謝しています。今では子どもも成長と共に父兄のつながりも増え、年間を通じて色々なイベントもあり、楽しく過ごさせて頂いています。

また、漁協親方さんの勧めで入れて頂いた高松八幡宮氏子青年会(高輝会)の活動も、この地を知らない者にとって幅広い方々に認知して頂き、定住する上で心強い関係作りが出来たと思います。

現在、漁業を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、2人の子とも達も高校・中学を目前に控え、親とし

てやるべき事をやってあげられるように、これまでと同様一步一步家族と共に頑張つて行こうと決意しています。

昨年漁業者としての人生が、10年勤めたサラリーマンの人生を逆転しました。漁業での10年といってもまだまだで日々わからない事の連続です。

昔、親に言われた事があります。「社会に出てからも一生勉強やぞ」と。それは確かにそうで、サラリーマンの時は上司から教わり、今では浜の親方の皆様から教わる。それは仕事に関する事だけではなく、一般常識的な事から人生論的な事まで多岐にわたります。今、縁あって来たここ田布施で、漁業者として更に知識を深めながら、自身が学んできた事を後者に伝えていくように、経験値を高めていきたいと思っています。



隔月で、たぶせキッズ教室の様子を紹介していきます。

『わくわく』陶芸教室

社会教育課



文字通り、「わくわく」が連続する陶芸教室でした。土をこねると、思い思いの形に变身。まずこれは、粘土の「妙」…。また、釉薬（うわぐすり）をつけて本焼きをすれば、作品はなまめかしい光沢を帯び、高貴な質感をその身にまといまいます。これは「釉薬のなせる技」でしょう。

自分の手で作った物が、いろいろな力を借りながら美しい作品になっていく。—— 参会のみなさんの嬉々とした表情が、陶芸の楽しさを何よりも雄弁に物語っていました。

工匠の格調高い芸術品もいけれど、丹精込めた自分の力作に、さらに大きな価値を見い出すことができました。

これも、山本卓司先生をはじめ、「陶芸を楽しむ会」のみなさまの懇切丁寧なご指導があつての賜です。わくわくする楽しい時を提供していただき、ありがとうございました。



第167回

サークルウォッチング

手編み教室

東田布施公民館



今回は、東田布施公民館開設時より続いている手編み教室を訪ねました。

皆さんが、ご自身の作品を着て迎えてくださり、その素敵さに目が服に釘付けになりました。手編みとは思えないほどの完成度で、さぞ製作には時間がかかるのではないかと製作時間をお聞きすると、大体3カ月を要するとのことでした。講師の中川宏子先生曰く、手編みの良さは、既製服では得られない、その人の好きな思い通りの作品ができることだそうです。

作品には、手提げバックや帽子などの小物もあり、これからの季節に向けたポリプロピレン製の糸を使用した帽子を編んでいる方もいらっしゃいました。

手編みを始めたきっかけをお尋ねすると、「公民館まつりの展示を見て作ってみたい」と思

い、出ることもないので、楽しみに始めました。「退職を機に興味を活かそうと思った。」「ボケ防止よ。」など様々でした。確かに手編みは、指先を動かし、口を動かし、どんな作品を作る



うか頭で考えるので、ボケ防止になるそうです。

同じ場所に集い、各自が先生に習い、お喋りしながら、間ではティータイムを設けて楽しく編んでいると、3時間はあっという間に経ってしまいます。

手編みをしつつ、お喋りによる料理教室や人生相談など、何変化にもなる多彩な中身の濃い教室でした。

■講師 中川 宏子

■日時 第1・第3木曜日

午後1時～午後4時

■場所 東田布施公民館研修室

■代表者 米本 明子